

保育理念 (園運営の基本方針)		全職員の創意と総力を結集して、保育目標の達成をはかるため、次のことを基本にすえて運営にあたる。 1. 保育目標について、共通理解とその具体化、実践をはかる。 2. 園内外の環境の整備及び施設・設備の充実を促進していく。 3. 園と家庭との連携を密にし、園児の安全ですこやかな成長をはかる。 4. ひとりひとりの子どもの心身の全面的な発達をめざし、保育内容を豊かに発展させる。 5. 職員集団は常に学習し、保育実践は質の高いものに練り上げて行かなければならない。					
保育の基本方針		ヒトから人の子として育つ乳幼児期は、感覚機能の均衡のとれた発達を保障することが大事だと思います。そして、その基礎のうえに、意欲あふれる創造性豊かな、賢い子に育てるために特に次のことを重視して保育をします。 ○水・砂・土遊び ー最も子どもを開放する大切な遊びであり、思いきり遊べる子どもは集中力・探究心を身につけるようになります。 ○リズム運動 ーはだして園庭を駆け回り、木登り等全身を使った遊びとともに、毎日のリズム運動によって、身体細部の神経系の働きを促し、やがて繊細な表現力と粘り強さを育てていきます。 ○絵を描く ー子どもはその生活と体験を認識として絵で表現します。豊富な生活の体験と、絵本等の読み聞かせは、想像力を高め、しだいに緻密な認識の拡がり表現するようになります。					
保育目標		1. 健康で明るく、自分の思っていることをはっきり言える子 2. 自分の目で見、自分の頭で考え、創造してゆく行動力のある子 3. 自分だけのことでなく、友だちのことを考え、協力しあっていくことのできる子 4. どんな困難ものりこえ、最後までがんばるたくましい子					
発達課程		0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
養護	生命の保持	気温の変化、健康状態に留意し、気持ちよく眠れるよう配慮する。	睡眠など適切な休息をとるようにし、快適に過ごせるようにする。	睡眠など適切な休息をとるようにし、快適に過ごせるようにする。	午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、緊張を緩和する。	午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、緊張を緩和する。	午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、緊張を緩和する。
	情報の安定	保育園の生活リズムになれ、安定した生活をさせるよう配慮する。	生理的欲求や甘えなどの依存的欲求が満たされ、情緒が安定する。	自発的な気持ちを大切にし、基本的な習慣が身につくようにする。	自発的な気持ちを大切にし、基本的な生活習慣を確立させていく。	年長組に進級する期待の中で、クラスのまとまりを深めていく。	クラス全体が活気に満ちあふれ、自ら物事に取り組む意欲を育む。
教育	健康	外気浴、日光浴を中心とした健康管理に十分注意し、心身機能の豊かな発達のめばえをうながす。	歩行の完成と共に豊かな体験を拡げ、目と足と手の運動機能を総合的に使わせ伸ばしていく。	戸外遊びや体育、遊具などの遊びをとおして、健康的でバランスのとれた体力作りをしていく。	ルールのある遊びを取り入れ、知的活動とも関連づけながら、基礎的運動機能の発達を図る。	いろいろな運動器具を使って、遊びや体育をする中で、十分な運動機能の発達を促していく。	ルールのある運動競技や遊びを進め運動機能の発達と、安全に必要な態度や習慣を身につけさせる。
	人間関係	担当保育士との愛着関係を基盤に人との信頼関係を深める。	保育士と子どもの遊びを豊かにし遊びの中で子ども同士の触れ合いを経験させる。	いろいろな素材を用いて遊ばせ、子ども同士の触れ合いを経験させ、友だちと協力することを教える。	体を動かす遊びを十分にさせる中で、グループや集団の中の一人であることを分らせる。	簡単な当番活動をとおして、クラスやグループに対して、自分の仲間という意識が芽生える。	グループ活動の中で自分の能力が十分に出せるよう、子ども同士互いに励まし合うよう教えていく。
	環境	活動しやすい服装や環境を整え、身体諸機能の発達を促していく。	身の回りのいろいろなものや豊かな自然の中で、さまざまな具体物に触れさせ、認識を深めていく。	散歩や園外保育で、自然や社会の事物を見たり触れたりして、それらに対する認識を深めている。	散歩や園外保育を多くし、自然や社会の事物について、直接経験からの認識を深めさせていく。	動植物の飼育や栽培をとおして、みんなのために働くという喜びを知らせる。	動植物の飼育や栽培をとおして、自然や社会に対する科学的な芽生え、想像性や愛情を育てていく。
	言葉	保育者の歌や言葉かけを多くすると共に、喃語を受け入れてやりながら言葉の発達を助けていく。	語りかけを多くし、具体物(対象物)を指して触れさせ、言葉と事物の結び付きから言語を教える。	友だちと感動しあうことによつて言葉の発達につなげ、自分の要求は言葉で言えるようにしていく。	集団生活のルールや、約束を分らせる中で、自分の要求が自由に言えるようにしていく。	集団の中で話し合い、絵本・詩などにより、豊かな言葉を覚え、内容の理解なども進む。	絵本・詩などにより、想像力あふれるイメージを拡げ、豊かな言葉を覚える。
	表現	聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚や手や指の機能を働かそうとする。	保育士と一緒に歌ったり、踊ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。	生活や遊びの中で、歌ったり、踊ったり、手遊びをしたり、表現する楽しさを教える。	絵本や童話、地域の行事に接し、その模倣遊びから創造的活動を発展させていく。	集団行動や集団制作を多く経験させる中で、協力して創り上げる喜びを味あわせる。	集団行動や集団制作を多く経験させる中で、創造的に考え、協力して作り上げる喜びを味あわせる。
食育	食を営む力の基礎	個々に応じて離乳食を進め、幼児食への移行を図る。	様々な食品に慣れ、移行食を経て幼児食になる。	様々な食品に慣れ、意欲的に食べるようにする。	様々な食品に慣れ、楽しんで食事ができるようにする。	動植物の飼育や栽培をとおして、興味を持ちながら食事をする。	動植物の飼育や栽培をとおして、食に対する理解を深める。
健康支援		○日々の健康状態の視診 ○毎月身体測定 ○年2回歯科検診・内科検診 ○年2回蟻虫・尿検査 ○毎月給食予定献立表の配布 ○薄着の奨励					
衛生・安全		○園内外の設備・用具などの清掃・消毒 ○毎月調理検便 ○貯水槽年1回清掃 ○避難・消火訓練毎月実施 ○毎日園庭遊具・施設設備安全点検 ○消防設備年2回定期点検					
保護者・地域への支援		○クラス便りの発行 ○クラス懇談会 ○個人面談 ○絵本の貸し出し ○保護者勉強会 ○中・高生職場体験学習受入 ○上平良川公民館文化祭参加					
職員の資質向上		○園外研修への計画参加 ○園内勉強会 ○自己研鑽学習 ○教材研究					